

日時	2024年4月6日(土) 10:30 ~ 11:30 天候：晴
場所	なにわECOスクエア2階交流スペース、自然体験観察園・実生林

講座・活動名	実生林創生プロジェクト
参加者	10名(うち子ども 名) 構成:一般参加 名、エコボラ 10名、事務局 名
講師名	(エコボラの場合氏名に*印をつける)
内容	実生林創生のための活動、下草刈り、生き物調査、柵修理
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) ハサミ、ノギス、メジャー、ジャーマンメジャー、30mメジャー、ロープ、鎌、かけや、札、調査用紙
振り返り エコボラ通信に 掲載することが あります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落葉樹が主な樹種で、いずれも新芽が出始めたところで、樹高測定の際の、ターゲットをとらえやすい時期になった。</li> <li>・昨年の猛暑で、早くに葉を落とした F012 サクラ sp.は、以前から樹勢が衰えていたが、今年も花を咲かせたので、来月は葉が展開するかどうか注視していきたい。</li> <li>・下草は、ヤハズエンドウ、ヤエムグラが主で刈らずにおいたが、イネ科(カモジグサやネズミムギの仲間か)は数種の草丈が高く出ているので、葉や茎を刈り土壌に置いた。夏に緑陰が深くなり、日当たりが悪くなるので、現段階で強い制御はしない。</li> <li>・F017 コナラは昨年より枯れがすすみ、春には新芽がでないかもしれないと予想していた。今回、ラベルの付いた短い幹は完全に折れていたため、対象木から除外することにした。F021 クヌギも上部が枯れてはじめて、下からひこばえが出ていたが、今回、札が取れていて、近くのそれらしき細い幹はあったが、それに来月葉が出ていたら特定することにした。</li> </ul>
次回案内 毎月第1土 曜 9:45 集合	30分程度、野草広場で草刈りをした後、実生林・雑木林での作業をします。樹木の成長を記録する「毎木調査」と下草刈りや、雑木林周囲の落ち葉止めのための竹柵の補修を分担して行います。作業は11:30まで。12時まで打ち合わせをします。軍手をご持参ください。必要人員7~8名程度

スタッフ氏名	活動内容	スタッフ氏名	活動内容
高橋満子	毎木調査	北川ちえこ	植物調査
竹原秀樹	竹柵修理	中谷憲一	昆虫調査
中島一彦	毎木調査、竹柵修理	西田敏子	植物調査
木山正隆	竹柵修理	岩永圭司	植物調査
柘元慶子	毎木調査、下草刈り	林耕太	植物調査、野鳥調査

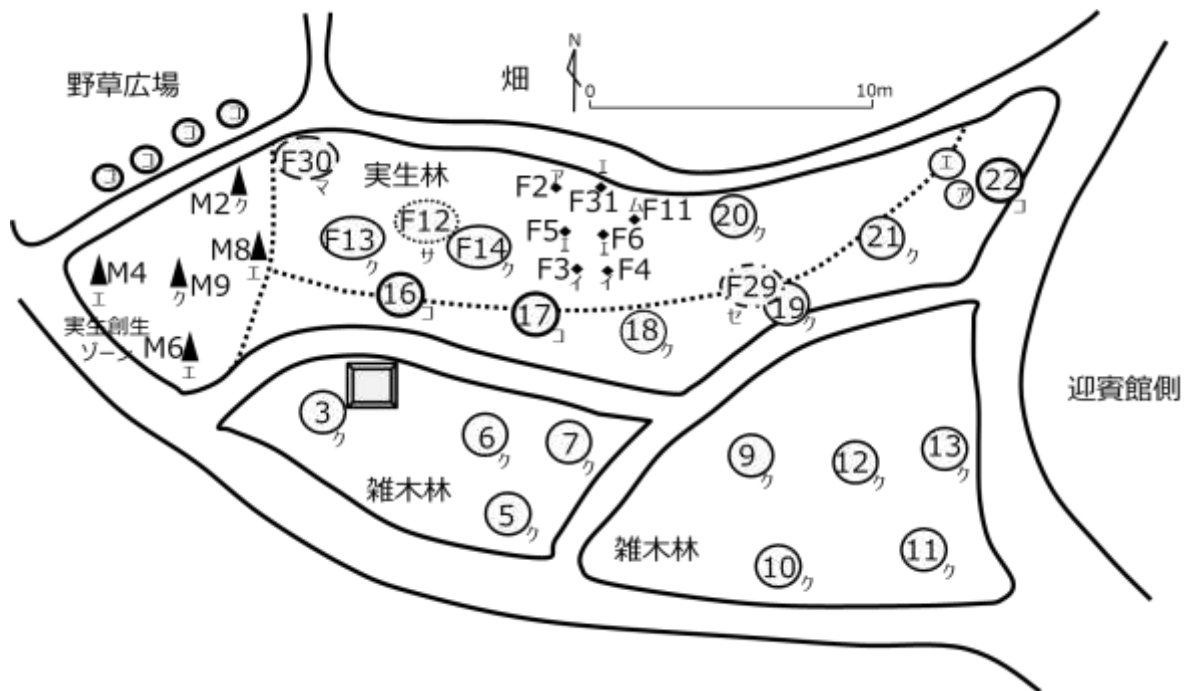
いずれかに○→(○)裏面に図面、写真等を添付した ( )裏面なし ( )詳細はファイルで提出

図面・写真等 添付面

日時	2024年 4月 6日 (土)	記録者	高橋、中島、柘元
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		

毎木調査結果 (EXCEL 原票から表を貼り付ける)

Code	樹種	樹高cm	地面10cm 幹直径 mm	備考	Code	調査年月日		20240406	
						樹種	樹高cm	幹直径mm	備考
F002	アキニレ	697	201.5	▼3本まとめて周囲cm	F017	コナラ	-	-	枯れた
F003	イヌビワ	237	38.3		F021	クヌギ	-	-	行方不明
F004	イヌビワ	335	46.5		F022	エノキ	105	9.3	
F005	エノキ	723	89.6	▼	F028	クスノキ	142	26.8	
F006	エノキ	753	50.5	▼	F029	センダン	636	55.2	地面56cm上から測定
F009	クヌギ	71	8.7	古い札タマフシ	F030	マグワ	886	251.5	▼
F011	ムクノキ	869	175.7	▼	F031	エノキ	266	23.4	
F012	サクラsp.	703	198.3	▼ほとんど落葉	F032	クヌギ	68	14.2	F009nを改善
F013	クヌギ	979	140.1	▼	M002	クヌギ	501	65.7	2020/1/11移植
F014	クヌギ	1170	158.2	▼	M004	エノキ	463	60.8	2020/1/11移植イラガ繭
F015	クヌギ	107	8.5	さけている	M006	エノキ	134	32.5	2020/1/11移植
F016	アキニレ	47	9.2	過去クヌギだった	M008	エノキ	485	53.5	2021/1/9測定開始ダンダラ:
					M009	クヌギ	130	13.0	2023/7/1測定開始



図面・写真等 添付面

日時	2024年 4月 6日 (土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		



実生林：クヌギ



実生林：アキニレ



コナラ 野草広場との境界



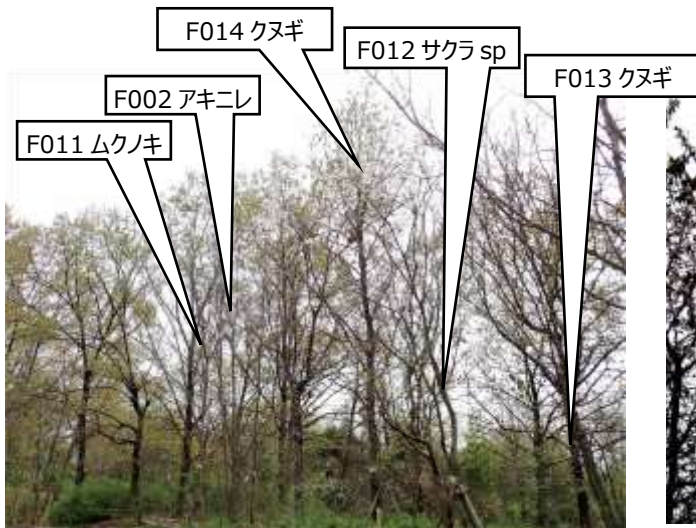
実生林：イヌビロ



実生創生ゾーンでの毎木調査  
右手奥 M002 を計測中、中央は M004 エノキ



実生創生ゾーン M004 エノキ：イラガ羽化後繭



実生林：薄い緑色の新芽が全体に見える



F012 サクラ sp：昨年の猛暑で早く葉を落とし枯れるのではと心配されたが、今年も花が咲いた

日時	2024年4月6日(土)	記録者	北川ちえこ・中谷憲一・林耕太 岩永圭司・西田敏子
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		

## 実生林

外来タンポポが目立ったので除去した。

草本：14種

アメリカフウロ 1、アレチギシギシ 1、ウマゴヤシ 2、オヤブジラミ 1、外来タンポポの一種 2、カンサイタンポポ 2、キュウリグサ 2、コハコベ 2、スイバ 1、ハルジオン 1、ヒメオドリコソウ 2、ヤエムグラ 1、ヤハズエンドウ 2、ヤブカンゾウ 1

木本：6種

アキコレ 4、エノキ 1,4、クスノキ 4、クヌギ●1、コナラ●1、ヤエヤマブキ●2

動物：1種

シジュウカラ 0声

## 実生創生ゾーン

草本：16種

アメリカフウロ 1、アレチギシギシ 1、イヌガラシ 2、ウマゴヤシ 2、オオバコ 1、オランダミミナグサ 2、カンサイタンポポ 2、キュウリグサ 2、コハコベ 2、スイバ 1、ススキ 3 立枯、セイタカアワダチソウ 1、ノゲシ 1、ヒメオドリコソウ 2、ヤハズエンドウ 2、ヤブカンゾウ 1

木本：2種

アキコレ 4、コナラ 1

動物：2種

イラガ 0羽化後繭 (M004)、ダンダラテントウ 4 (M008)

## 雑木林

草本：17種

アレチギシギシ 1、ウマゴヤシ 2、エゾノギシギシ 1、オヤブジラミ 1、カタバミ 1、カラムシ 1、カンサイタンポポ 2、コハコベ 2、スズメノエンドウ 2、セイタカアワダチソウ 1、ナズナ 2、ノビル 1、ヒナタイノコズチ 1、ヒメオドリコソウ 2、ヤエムグラ 1、ヤハズエンドウ 2、ヤブカンゾウ 1

木本：6種

アキコレ 4、エノキ 1,4、クスノキ 4、クヌギ●1、タチバナモドキ 1、ムクノキ 4

動物：4種

ウグイス 0声、カワラヒワ 0声、シジュウカラ 0声、メジロ 0声

## 番外

母屋や観察園東側の樹林の木にいろいろな花が咲いていた。他にサンシュユやレンギョウも満開だった。



アセビも花をつけないと気がつかない  
撮影 北川ちえこ



下を見て歩いていないと  
見逃してしまいそうなキランソウ  
撮影 北川ちえこ



ハナズオウ 撮影 北川ちえこ



花が咲かないと分かりにくいシモクレン、  
毎年実を付けているカリンの花  
撮影 北川ちえこ



水田 B に雑種カモペアと  
カルガモペアが交替で餌を探していた  
撮影 柗元慶子

## 水田 B

雑種カモ 4 (ペア)、カルガモ 4 (ペア)

## なにわエコスクエア 玄関横階段室 ガラス窓

ゴマダラチョウ 2



芽吹いた  
エノキの大木

なにわエコスクエア  
階段部ガラス窓  
外側からみた様子

なにわエコスクエア階段ガラス窓を登るゴマダラチョウ幼虫  
エノキの幹を登るつもりが、窓を登ってしまった  
ガラス窓の内側から：腹面の様子がよくわかる 撮影 柗元慶子